

## 平成28年度 第4回 淀川区子ども教育会議 議事録

日 時 平成28年12月2日(金) 19:30~22:00

場 所 淀川区役所 5階 502会議室

出席者 委 員：久保 みのり 氏

坂井 肇 氏

佐藤 琢二 氏

泉水 清治 氏

藤本 好一 氏

増田 裕子 氏

松村 祥 氏

横山 和徳 氏

※委員のうち、大中 智佳氏、辻川 松子氏、西川 勇氏は欠席

事務局：淀川区担当教育次長 榎 正文

淀川区教育担当部長 渋谷 靖

淀川区教育担当課長 榎原 幸一

淀川区教育担当課長代理 佐多 隆彰

教育政策課 担当係長 福田 恵

大阪市立宮原中学校長 恩塚 千代

大阪市立田川小学校長 江草 啓祐

傍 聴：1名

### 《会議資料》

資料1-1 各校の取組状況一覧

資料1-2 報道例(ヨドネル大規模調査 結果報告会)

資料1-3 平成28年度大阪市「全国学力・学習状況調査」質問紙結果抜粋

資料2-1 大阪市いじめ対策基本方針の独自性と特色

資料2-2 H28.7.13付 指導部通知「学校安心ルール(案)の周知について」  
(保護者あて通知文案・学校安心ルール(案)の表・ポスター)

資料2-3 学校安心ルール(案)を配布するにあたっての課題について

資料3-1 PTA会費管理にかかる教職員の懲戒事例(2件)

資料3-2 H28.8.25付 教育委員会通達

資料3-3 H28.9.2付 淀川区担当教育次長通知

資料3-4 各校の状況一覧

資料4 平成29年度事業の予定について

資料5 区政会議委員からのご意見

## 議題1 子どもの睡眠習慣改善支援事業（ヨドネル）の進捗について

### （区長より説明）

各校で取り組んでいる睡眠習慣の取組について、効果が出てきているところもある。北中島小の午睡の取組みでは、保健室の入室者が減少する結果が出ているようだ。運営の計画の段階では取組みが不十分な学校でも、示されたデータや、学校協議会の要望で取組みを強化したところもある。取組みの効果が来年度以降の全国学力テストに表れると、学力と睡眠の相関関係がわかりやすくなる。

### （課長）

6月に実施したアンケートをまとめた「すいみん白書」が完成した。様々な項目で睡眠習慣の関係を分析している。また、各校への結果のフィードバックを進めている。

### （委員より意見）

- 保護者の意識改革が必要。
- 情報を受け取ろうとしない保護者にどのようにアプローチしていくか。

#### →（区長回答）

例えばある小学校は睡眠チェックシートに保護者記入欄があり、保護者を巻き込む仕組みがある。

- 小中学校の頃から、将来の目標について家族と話すことができればいい。
- 「すいみん白書」の設問で「保護者からの褒め」が睡眠にも関連するとあるが、これを子どもが見たら自信を無くす子もいるのではないか。

#### →（区回答）

次回以降工夫するが、保護者の意識を高めてもらうためにどのような表現がよいか検討してのもの。保護者以外の大人に働きかける効果も狙ってのものだ。

- 講演会で空席が目立っていた。教職員等に動員をかけてもいいのではないか。

#### →（区回答）

講演会への参加は、各学校の業務の状況や、個々の家庭の事情もあり、強制するのは難しい。講演会、パンフレット、キャラクター、ライン配信等、どの媒体が効果的かは個人個人で違うので、メッセージをいかに効果的に伝えるか、という視点で、いろんな啓発方法を考えて進めている。

- 「睡眠を与えないことは虐待」という表現はインパクトがあって効果的ではないか。
- 夢さんのラインは朝バージョンがないのか。

#### →（区回答）新年以降の課題とする。

## 議題2 学校安心ルール（案）について

### （課長より説明）

学校安心ルール（案）の紹介。昨年度8月のいじめ対策基本方針に関連したもの。子どもの規範意識の醸成を狙い、問題行動と、それに対する学校の対応を分かりやすく表にしたもの。各学校の状況に応じた周知について、教育委員会から学校あてに通知が出ている。

### （委員より意見）

- 個別に対応を変えるべき。子ども達自身に考えさせるほうが、規範意識が見につくのではないか。

○安心ルールがいじめ予防に役立てばいいが、そこに保護者が介入することで、学校がルールを出しにくくなっているのではないか。

○ルールを表は、被害者主体にするべきだったのではないか。

(校長より)

○現場では、教員が1人で問題を抱え込まないように、他の教員と問題を共有するようにしている。

○いじめアンケートで、いじめが何かを再認識させている。各担任が話し合いをしながら和解を図ったり、指導に役立っている。早期発見、早期対応を目標に、担任も努力している。

○いじめの認知のハードルを低く設定。継続していない単発のものでもいじめと認識している。合わせて、どういうものがいじめか、生徒にも周知している。

(課長より説明)

学校安心ルールは、加害者を罰するというより、被害者の視点をもってどうするのがいいかを考えたのが発端である。今までは被害者のほうが転校したり不登校になってしまったりしてきた。問題行動の内容により一律に取り扱えない場合は、現場の裁量により個別に対応することになる。

### 議題3 P T A会費の管理の在り方について

(課長より説明)

P T A会費の横領事案で教職員が懲戒処分されている。通帳、印鑑を別々に管理する・P T Aが監査をする、等の対応をしても不祥事が起こっている。教育委員会からも通達が出ているが、区から、不正が発生しない仕組みを考えてほしいと各校にお願いしており、取扱を変えた学校がある。区P T Aにも区から投げかけをしているところである。

(区長)

P T A会費の管理状況をモニタリングしていくべきだと思う。

(委員より意見)

○出金のたびに実行委員会を通るのであれば、不正は防げるのではないか。

○地域の小学校では、通帳、印鑑は学校で管理しているが、支出の際は、毎月の実行委員会で承認を得てからすることになった。

○学校が関与しないといけないものか。

→ (校長より回答) 教職員もP T A会員で、入金する必要があるので通帳を管理する。

### 議題4 その他

#### (1) 平成29年度教育支援関連予算案の状況について

(委員より意見)

○各事業の増減額を補足説明してほしい。

→ (区回答) 児童生徒体力づくりについては参加者が見込めないものをスクラップアンドビルドし、メニューの組み換えによる減。英語交流事業については実施方式の変更。ヨドジユクでは、試行的にタ

ブレット導入、参加前後で試験をすることによる増。

○ヨドネルは今年度と同様のアンケート調査をするのか。

→ (区回答) アンケートは実施するが、印刷の単価見直し、契約手法の見直しで若干の減となった。

○英語交流という形でなく、国際交流、国際理解という形はどうか。

→ (区回答) 多文化共生も言われている時代なので、今後取り入れるように検討する。

○校庭芝生化事業の補助金は、芝生に直接関わる部分しか支出が認められていないが、地域コミュニティの観点で使えるように検討してほしい。

## **(2) 標準服について**

区政会議の委員から、淀川区はLGBTを推奨する方針を取っていることに関連し、キュロットなど、運動しやすくユニセックスな標準服を採用してはどうかという意見があった。

### **(委員より意見)**

○LGBTに関しては、私服にしてもスカートをはきたい男子については解決しない。

○標準服の決定権は各校のPTAにあるとすれば、この会議の意見は参考として出すのか。

→ (区回答) 参考として各校に出していく。

### **(校長より)**

○標準服に学校は関与しているが、PTAを中心に決定されている。標準服は強制ではないので、事情により私服で登校することを認める場合もある。